

事業番号	09 03 14	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校費 (農業大学校改革推進事業含む)			担当課	部局	農政部	
					課・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成			実施期間	～	

1 事業の概要

目指す姿	理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育体系により、農業技術の高度化や経営の専門化に対応する知識・技術を修得させるとともに、寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調、自己の確立等の社会性を育み、21世紀の農業・農村を担う優れた人材を養成する。
------	--

現状(予算編成時)	<p>○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、平成25年11月5日現在、農学部学生は152人となっている。</p> <p>○平成25年度卒業生は自家就農、農業法人への就農のほか農業協同組合、農業関連企業に就職し、卒業生の多くが本県農業の振興に寄与しているが、就農率は36.8%とやや低い状況にある。但し、社会人を一定期間経験したのち就農を考えている学生もいる。</p> <p>○H26年度から、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、一般コースの農家実習の拡充(24日→45日)、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めている。</p>
-----------	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 農業改良助長法第7条の5において、農業後継者等に対し、技術及び知識を習得させるための教育を行うことが明記
	県民との協働による実施：実施は困難	農業改良助長法(国)、長野県農業大学校条例(県) 長野県食と農業農村振興計画

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)							
	<ul style="list-style-type: none"> 就農に向けた支援を積極的に実施し、農学部卒業生の就農率を向上させる。(38.8%(H23)→48.0%(H27)→67.0%(H29)) 就農に必要な大型特殊・けん引免許等の資格取得率を高める。けん引免許取得率 76.6%(5か年平均)→80%(H27) 農業機械系資格取得率 79.8%(5か年平均)→85%(H27) 							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		農業大学校運営費	直接	平成26年度から新設した実践経営者コースなど就農を希望する者に対して、より実践的な講義や実習により、農業に関する知識と技術の習得教育を行った。		54,730	51,440	49,926
		(再掲)教育内容充実強化事業費(農業大学校改革推進事業)	直接	より実践的なカリキュラムや講師陣の充実・強化のため、大学教授等の「外部講師」や農大のアピールポイントとなる「特別講師」等により実践力のある優れた人材育成教育を実施した。		5,446	5,118	5,452
		実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じて栽培技術の習得を図り、就農へとつなげた。		6,593	6,196	6,478
	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じて新規就農者の技術力の向上を図った。		11,609	10,910	10,846	
	農業大学校施設整備費	直接	学生及び研修生の実習中の緊急事態に対応するためAEDを整備した。		1,229	1,155	11,200	
			合計		74,161	69,701	78,450	

事業額	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越	0	0	0	
		当初予算	60,925	1,429,316	74,161	78,450
		補正予算	398,580	12,344	0	
		合計(A)	459,505	1,441,660	74,161	78,450
	コスト	一般財源	38,348	45,881	44,180	42,959
		県債				
		国庫支出金	413,523	16,095	16,553	24,144
		その他	7,634	1,379,684	13,428	11,347
	決算額(B)	408,440	1,387,205	69,701		
概算人件費	職員数(人)	31.00	31.00	31.00	32.00	
	概算人件費(C)	255,998	255,998	256,556	264,832	
	概算事業費(B(A)+C)	664,438	1,697,658	330,717	343,282	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
農学部卒業生就農率(%)	42.7	48	45.3	未達成	48
大型特殊けん引免許取得率(%)	-	80	95.9	達成	80
農業機械系資格取得率(%)	-	85	97.6	達成	85

目標に対する成果の状況	「農大改革」の一環として大手農機具メーカーとの連携による最新農業機械の操作技術の習得、多彩な民間講師陣による実践的な講義などを実施した。また、改革の目玉である「実践経営者コース」の第1期生6名が卒業し全員就農した。就農率目標は、市町村職員やJA等農業関係団体・企業への就職者、大学へ進学する者等があり未達成となった。一方、免許取得は延べ267名が受講したが95%超の合格率となった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	実践経営者コースの第1期生6名全員が28年4月就農し、地域農業の担い手として期待される。引き続き卒業生の就農率の向上や、農業関係免許取得のための研修充実等に取り組み農大改革を推進する。